

## 石綿セメント管の健康への影響について

石綿（アスベスト）が人体に与える影響としましては、空気中に浮遊するアスベストを吸入し肺に入ることにより、肺がんや中皮腫などを発症させる原因になると言われていますが、石綿セメント管を通過した水道水の健康への影響については、厚生労働省が考え方を下記のとおり示しています。

**水道水中のアスベスト残量は問題となるレベルにないこと。**

**また、世界保健機構（WHO）の「飲料水水質ガイドライン」（2004年第3版）においても、健康影響の観点からガイドラインの値を定める必要がないとしており、安全性に問題はない。**

平成17年7月13日付け厚生労働省健康局水道課事務連絡より抜粋

石綿セメント管を通過した水道水の健康影響

平成4年（1992年）に改正した水道水質基準の検討時に石綿（アスベスト）の毒性を評価しましたが、アスベストは呼吸器からの吸入に比べ経口摂取に伴う毒性はきわめて小さく、水道水中のアスベストの残存量は問題となるレベルにないことから水質基準の設定を行わないとしました。

世界保健機構（WHO）が策定・公表している飲料水水質ガイドラインにおいても、飲料水中のアスベストについては、「健康影響の観点からガイドライン値を定める必要はないと結論できる。」としています。